

## インドネシア水道に係る情報収集 No. 190403-4J

検索サイト	Google	実施日	2019/04/03	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア 水環境」で検索					
URL: <a href="https://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/topics_ja/2014/04/20640/danno_20140317.pdf">https://www.jbic.go.jp/wp-content/uploads/topics_ja/2014/04/20640/danno_20140317.pdf</a>					
<p>標題：最近の水ビジネス市場と主要プレーヤーの動向</p> <p>2014年3月17日</p> <p>株式会社日本総合研究所 総合研究部門 社会・産業デザイン事業部 シニアマネジャー 段野孝一郎</p>					
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水ビジネス市場の動向 <p style="margin-left: 20px;">現状及び将来の市場規模を資料の出所毎に整理すると、以下の通りとなる。上下水道関連、産業用水関連 の市場規模は2013年で約50～60兆円であるが、2025年頃には100兆円を超えると予測されている。</p> </li> <li>・主要プレーヤーの動向 <p style="margin-left: 20px;">二大事業者（Suez, Veolia）が自国及び周辺市場に回帰する一方、欧州水道事業者は海外展開を進め、中国・ブラジル事業者は本国を中心に事業を拡大、アジア・太平洋の新興水メジャーが海外事業を拡大中。</p> </li> <li>・成長市場の水ビジネス市場の動向 東アジア、南米 <p style="margin-left: 20px;">東アジア：インドネシアにおける事業機会</p> <p style="margin-left: 20px;">政府の開発計画は実現性を考えると不透明であるものの、都市部の浄水設備や臨海工業団地の淡水化設備等、民間企業による投資機会が多く、日本企業への期待も大きい。</p> </li> </ul>					
備考 5年前といささか古いが、中長期的見方が参考になる情報である。					